

委員ご意見 <基本方針 9>

<p>明石会長</p>	<p><学校・保護者・地域人材の連携> 学校と保護者・地域人材の一層の連携を図り、中学校区を核として、その校区の特色に合わせた活動やネットワークを構築する必要がある。 具体的には、①キャリア教育の一環として、児童生徒などを対象に若い世代からの「親学習」の実施、②自治会や社会福祉協議会等と連携した「人材活用」や「人材育成研修」の充実が求められる。</p>
<p>小田委員</p>	<p><幼稚園・保育所・認定こども園における教育機能の充実（具体的取組137）> 幼児教育においては、公私立問わず、多様なニーズのある幼児（障がいの重度化・多様化等）への支援と、その保護者支援が重要な課題になっている。大学等で支援教育を学んできた教員や保育士は少なく、さらに支援学級や通級指導教室がないため支援教育の推進役がいない状態で、すべての子どもが同じ教室で学んでいる状況である。こうしたことから、「幼児教育センター」による幼児教育アドバイザーの育成と、幼児教育コーディネーターによる支援が一層充実していくことを期待している。</p>
<p>興梠委員</p>	<p><おおさか元気広場（具体的取組133）> 協力企業・団体による出前プログラム（75プログラム）について、大変充実した内容がある。たくさんの学校に活用していただきたいことから、もっと各単位PTAに宣伝して頂きたい。</p>